

島嶼保健看護

島嶼の人々を、その背景となる地理、歴史、文化、経済 およびそこから培われた生活をとおして総合的に理解し、これまで学んできた健康の概念と人々の生活との関連性および島嶼における疫学的動向と対策の理解を深め、また健康の全ての段階において保健医療福祉が連携によって果たす役割と看護支援のあり方について理解する。



国際保健看護

国際的視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、医療政策、疫学的動向と対策、保健看護事情と、人々の生活を理解し、日本国内に在住する外国人の背景と現状を理解する。それらから健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察できる。



沖縄の生活と文化

世界における「文化の多様性」の基本的理解の上に、沖縄に暮らす個人ならびに共同体がもつ強みと弱みをグローバルな視点からとらえられるように、沖縄の「歴史や文化」と現代社会において沖縄の人々の生活を支える「地域の社会心理的特性」との関わりについて学習する。



看護大学ゼミナールⅢ



3年次の学生は、過去の実習を通して気になったことや困ったことを振り返り、課題を見つけ、患者の安全・安楽に繋がるモノや、実習であったら便利だと思えるモノ等の看護用具を工夫・改善していく。その学習プロセスを通して、課題を克服する能力を獲得していく。

今年の成果物として、病室やトイレの色・音・匂いの環境改善、リハビリ効果の得られる衣服の作成、身体抑制しないための点滴等の工夫、健康教育のための手帳・ビデオの作成、会話困難な患者とのツールの工夫等、若さを活かした柔軟な視点からの多様な看護用具の工夫・改善がみられた。学生が自らのテーマに、グループメンバーで一丸となって取り組む様子が印象に残った演習であった。